



14日は2回目の美化活動です

5月の第一回目の美化活動に引き続き、10月14日二回目の美化活動を実施します。前回の活動で、ごみの収集量が多かった、青柳駅周辺と那珂川堤防沿いの道路に散乱したごみを拾います。青柳駅周辺も那珂川堤防も、交通量が比較的多く、活動時の事故が心配です。先導者を指名しましたので、指示に従って行動してください。危険な場所に落ちている物などは、無理をしないと、取ろうとしないでください。特に青柳駅付近は、線路内はもちろん周辺に小さな小川が流れていて、足を滑らせる危険がありますので、確認の上、行動するようにお願いします。当社の美化活動も、行事として定着して来ています。地域に少しでもお役に立つよう、ご協力をお願いします。

騒音に注意してください

夕方、日没が早くなり、帰社時ごろは、辺りはすっかり暗くなっています。周辺の方々のライフスタイルも、季節と共に移り変わって行きます。そのような状況では、チョットした話し声も気になるものです。帰社時は周囲に配慮してください。現在の騒音は、機械の音がうるさいといった公害型より、不快に思う音が問題視されます。コンプレッサーの音など、基準値以内であっても、不快と思われると騒音とみなされます。秋の風情を大切にしましょう。



近隣の方々への迷惑となりますので
大きな音を出さないよう心掛けてください

お静かに

今月の生物多様活動 ～ 秋の植物観察会に参加しました ～

9月17日 水戸市博物館主催で、秋の植物観察会が開催されました。今回は水戸市森林公園内にある様々な植物について観察しました。説明いただいた、講師の方によると、平安時代のころには、我々が良く知っている「朝顔」は、その当時、日本になくどうやら万葉集などに詠まれている朝顔は、桔梗(キキョウ)のことのようです。秋と言えば秋の七草、ハギ、ススキ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、ハギ、キキョウと森林公園内で確認することができましたが、ツリフネソウが密集していたところには外来種が繁茂して、生息域を脅かしています。この地区も保全が必要ですが、ボランティアの手に頼っている現状で、公園を有料化するなど、市民の理解が必要なようです。



最高責任者(社長)のコメント ～ 目標達成には創意工夫が重要 ～



今月の環境用語



本年度の環境目標の一つである電気使用量削減は、ここまで順調にきている。しかし、昨年の状況も冬場に電気使用量のピーク迎え、今年も、これからが節電対策のポイントと言える。目標達成には、社員個々の取り組み、心がけ、創意工夫が必要。どんな些細なことでも、率先して実行するよう願う。

「社会貢献」

環境活動の目標も年数を経ると、何かを減らす目標だけでは自ずと限界が来てしまいます。最近では地域の活動や要望に答え、自分達にできることを探し、活動することが、環境マネジメントの要求事項になっています。エコキャップ回収や美化活動、地域団体への支援活動など、ご協力をお願いします。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	16,598kwh	16,781kwh	×	107,446kwh	93,675kwh	115%	↑
一般ごみの削減	66袋	64袋	(達)	388袋	374袋	104%	↑
エコキャップを回収	860個	908個	(達)	5,030個	5,525個	110%	↑
美化活動の実行	—	—	(達)	1回	1回	100%	↑
生物多様性保護支援	1回	1回	(達)	5回	6回	120%	↑